

企業の人事担当者から業務内容を聞く学生  
11日、八戸プラザアーバンホール



## 2カ月遅く企業の採用活動解禁

# 不安抱え学生始動

### 八戸大 八戸短大 合同研究会に100人

経団連の倫理憲章見直しにより例年より2カ月ずれ込んだ、2012年度末卒業予定の大学3年生らを対象とした企業の採用広報活動が1日、解禁を迎えた。景気の低迷や東日本大震災の影響などに不安を抱えつつ、学生たちが就職活動に乗り出した。八戸大・八戸短大は同日、八戸プラザアーバンホールで合同企業研究会を開き、学生が企業の人事担当者と面談した。

倫理憲章は、学生が研究会を12月に開いて就職活動の過熱に巻き込まれることから、企業の採用広報活動がずれ込んで、企業側の見直しも進められた。企業側はスケジュールが詰まり、12月だけで5、6件の説明会に参加する企業もあるという。

この日は、県内外の企業44社が参加。同大によると、昨年より5社ほど増え、東日本大震災の影響は特に見られないという。

輩からは就活の厳しさを聞いています。これらが本番だと思うので頑張りたい」と話していた。

学生側は、昨年より約30人多い約100人が出席。同大就職支援委員会の村本卓委員長は「震災や、就職難の報道を見て、真面目に取り組まなければという意識が高まっているのでは」と述べた。

八戸短大1年の鎌田恵里奈さん（む）は「先